

保健センター及び保健医療課における口腔保健に関する取組について

平成21年3月に京都市口腔保健推進行動指針「歯ッピー・スマイル京都」を策定し、指針に基づいた口腔保健の推進を図っている。

1 口腔保健部会の開催

- ＜平成21年度＞ 第1回 平成21年 5月27日（水）午後2時～4時
 第2回 平成21年 9月 4日（金）午後2時～4時
 ＜平成22年度＞ 第1回 平成22年12月14日（火）午後2時～4時

2 本市の指針推進の主な取組

	21年度取組実績	22年度取組内容
保健センター	・乳幼児（8か月，1歳6か月，3歳児）の健康診査時における歯科健診（8か月児除く）及び歯科保健指導	同左
	・歯ッピーパスポートの配布（8か月児健診時）	同左
		・1歳6か月，3歳児健診時において口腔内の状況や育児状況等に支援が必要な方（ハイリスク児）を対象に，継続した口腔保健指導を行う「親子・歯ッピーサポート」を開始
	・成人及び妊産婦を対象とした歯科健診・相談（65歳以上は口腔機能相談）	同左
	・「お口からはじめる生活習慣病予防教室」等健康教育の実施	同左
保健医療課	・フッ化物歯面塗布事業（子どものむし歯0（ゼロ）プロジェクト）の実施	同左
	・子どもの歯と口の健康づくり講演会の開催 平成21年6月13日（土）午後2時～4時 （於）アバンティールホール，参加者数234名	
	・京都市集団フッ化物洗口支援事業説明会の開催，平成21年7月31日（金）午後2時～4時， （於）サンサ右京保健所講堂	・京都市集団フッ化物洗口支援事業説明会の開催，平成22年7月29日（金）午後2時～4時， （於）子どもみらい館
	・京都市集団フッ化物洗口支援事業のモデル実施	同左
	・京都市歯周疾患予防健診の実施（満40,45,50,55,60,65,70歳対象）及び保健センターニュースによる事業周知	同左
		・市民を対象とした歯周病予防のための講演会を平成23年3月に開催予定
		・歯ッピー・Note（仮称）の作成
	口腔機能向上教室	同左

子どものむし歯予防の取組の成果について

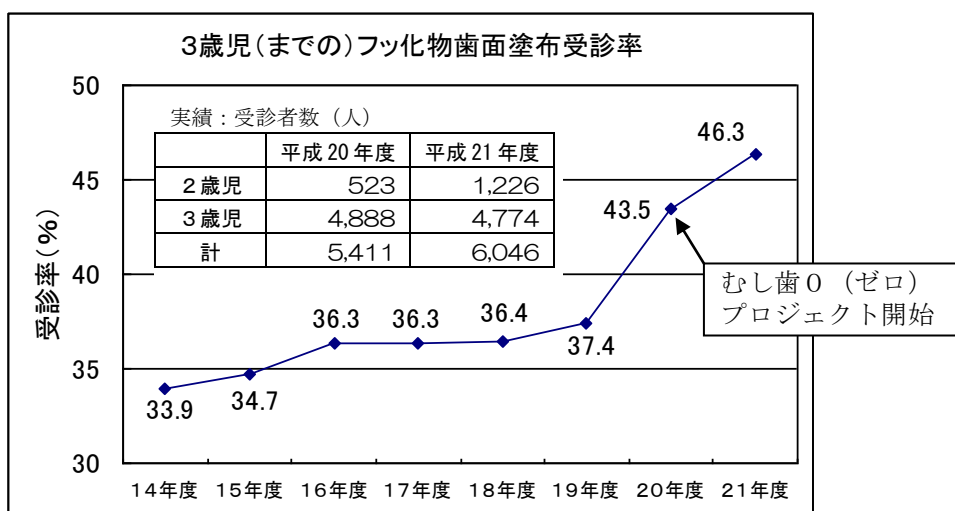
(1) フッ化物歯面塗布受診者総数の増加 ～むし歯0（ゼロ）プロジェクトの効果～

平成20年6月から本年度末まで、母子手帳に添付している受診票によるフッ化物歯面塗布について自己負担を無料とした。

○平成21年度のフッ化物歯面塗布受診者は前年度の635人増の6,046人であった。

○2歳児でのフッ化物歯面塗布受診者が前年度の743人増の1,266人であった。受診対象年齢の拡大とともに早期の受診へと全体が推移したものと推測される。

○平成20年度の2歳児受診者は523人であり平成21年度での3歳児での受診者数と合わせて5,307人が2歳児から3歳児の間に受診した。受診率は46.3%であった。

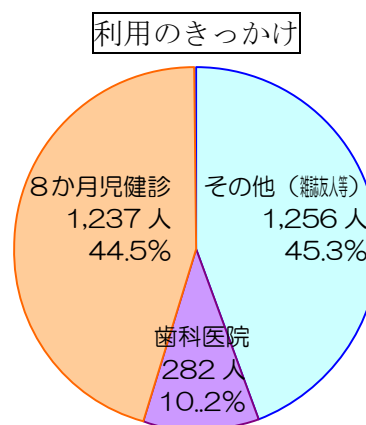


※ 京都市民健康づくりプランの目標値を受診率50%としており、目標達成にむけて大きく全身した状況であるといえる。

(2) 家庭でのフッ化物の利用について ～8か月児健診集団歯科保健指導の効果～

平成21年度から1歳6か月児歯科健診において、問診事項に「家庭でのフッ化物の利用」および「利用のきっかけ」について質問を行った。

1歳6か月児健診受診者数 11,071人
 家庭でのフッ化物利用者数 2,780人(25.1%)
 <利用のきっかけ>
 8か月児健診時の指導 1,237人(44.5%)
 歯科医院で聞いた 282人(10.2%)
 その他（雑誌、友人等） 1,256人(45.3%)



【保健指導の効果】

1歳6か月児歯科健診受診者のうち4分の1を越える者が、むし歯予防のため、家庭でフッ化物を利用していた。利用者の半分近くが8か月児健診での集団歯科保健指導が利用のきっかけとなっていたことから、8か月児健診での集団歯科保健指導の効果があった。